

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月11日

事業所名 放課後等デイサービス事業所 ひなたぼっこすき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			作業室・遊戯室・庭と各児童の活動に合わせて使い分けできるようになっています。
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			施設内はバリアフリーとなっており、車いすの方のためのトイレも広く、使いやすくなっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			長期休みごとに振り返りを行い、課題の整理、目標設定、改善を繰り返して行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			毎年、アンケート調査を行い、事業改善に役立てています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			法人内部の研修期間と連携し、研修会や勉強会、スタッフ間のディスカッションなどを積極的に行っています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			定期的に保護者の方との面談を行い、支援計画の作成、多角的な支援の方法を一緒に考えさせて頂いています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			相談支援事業との連携のもと、同一書式をベースにしたものを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			定期的な見直しを行い、新しいプログラムを取り入れるようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日、長期休みのプログラムを分け、児童一人一人の目標をクリアできるような支援体制を作っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			支援の前後に打ち合わせを行い、情報の共有に心掛けています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援の前後に打ち合わせを行い、情報の共有に心掛けています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的に保護者の方との面談を行い、支援計画の作成、多角的な支援の方法を一緒に考えさせて頂いています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		主としては児童発達支援管理責任者を中心として会議に参加し、必要に応じて担当スタッフも参加するようにしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校との連絡会を相談支援専門員と一緒に、必要に応じて情報の共有を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		必要な場合には通院時に同行し、連絡体制の構築を図っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		就学前の児童さんについては、保育所等を訪問し情報の共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		必要に応じて情報提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修会への参加や、相談を通じて連携を図っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		今年度に関してはオンラインなどを使って運動会をするなど、工夫しながら交流の機会を作りました。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	法人の代表が参加し、情報共有を行っています。	今年度より、児童ワーキンググループへの参加も行っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎の際や定期的な連絡を取り、児童さんの状況などを伝え、課題については一緒に考えるようにしています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者の方を中心とした親の会の活動をサポートし、研修会等の企画などを相互に行っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者の方を中心とした親の会の活動をサポートし、研修会等の企画などを相互に行っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月便りを発行しています。
	35	個人情報に十分注意している	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域のボランティアの方に参加して頂き、地域との交流の機会を作っています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			マニュアルを作成し、定期的な避難訓練などを行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			マニュアルを作成し、定期的な避難訓練などを行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			人権・虐待に関する研修には積極的に参加し、法人内での復命を通じて全体で意識を高めるように配慮しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		身体拘束を行うケースがありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			